

支部だより

ジャカルタ支部

作間正人 (IM平1)

昨年10月にジャカルタ支部会長が坂本英雄 (IM昭41) 氏より関根英治 (IM昭47) 氏へ交代となり、12月16日 (月) に関根新会長のもとでジャカルタ支部会がダルマワンサホテルにて開催されました。関根新会長から「外語会のメンバーは一騎当千であり、各業界において鋭意活躍されている専門家がおります。東京三菱銀行の柳田茂紀氏 (IM昭51) のインドネシア経済に関する講演も知的刺激となりました。ついては、今後も各メンバーが楽しくまた堅くならない雰囲気の中で、勉強会もかねて外語会を盛り上げていきましょう」との提案がありました。会長からの提案もあり、1月17日 (金) マーカントイルクラブにて新年会が開催されました。三井物産からToray Indonesiaに出向されていた遠藤建也氏 (Po昭56) の送別会もかねた会となりました。遠藤氏はインドネシアの繊維産業を取り巻く問題について講演され、燃料の高騰による影響を中心に鋭く分析し、女性2名を含めた15名の参加者からそれぞれの業界・立場にたった活発な意見交換が行われました。

一方、ジャカルタ支部では過去46回のゴルフ懇親コンペも開催しており、毎回多数のメンバーが参加し親睦を深めております。新体制では、中島真紀 (IM昭58)、作間佐知子 (S平3) の2名も幹事役として加わり、今後女性メンバーの参加による活動の活発化を検討しています。

また、東京外語大インドネシア語学科の講師を務められた城田実氏 (在スラバヤ日本国総領事館総領事) は、昨年のバリ爆弾テロ事件で総領事として厳しい公務を全うされ、この度、ジャカルタ外語会の名誉会員として登録していただくことについて賛同を得ました。このように幅広く活動しておりますので、皆様ジャカルタにお越しの際には是非お声をかけて頂きたいと思っております。

香港外語会

樋渡一海 (C平4)

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年はまだなかなか暖かくなり、過ごしやすく快適と思う反面、「香港らしい」季節が待ち望まれる思いも致します。さて、先日3月20日に開催致しました同窓会の報告をさせていただきます。

今回より、会員 (同窓生) のご家族や、香港に留学中の在学学生にも、参加を呼びかけました。同窓会当日は、皆様お忙しい中、会員とご家族を合わせ、39名 (+お子様2名) の方が参加くださいました (尚、現在の会員数は61名です)。半年ぶりの同窓会で、ご家族も交えて親睦を深め、留学生 (2名) や新しい会員の方 (6名) も参加し、たいへん盛況な会となりました。

3月は日系企業にお勤めの方にとっては異動の季節、当会でも数名の方が帰任・転勤となりました。事務局としては寂しい思いを隠せませんが、皆様の、今後のますますのご活躍をお祈り致します。副会長の鈴木昌範氏 (C昭45)、真鍋忠夫氏 (C昭47) も香港を離れられることとなり、後任に松本盛雄氏 (C昭51) をご推薦いただきました。他の役員の皆様には全員ご継続いただけることになりましたので、あわせてご報告させていただきます。

顧問：杉本 昌 (C昭18)、名誉会長：塚本勝弘 (C昭34)、会長：安立 功 (C昭43)、副会長：五月女政夫 (S昭46)、松本盛雄。事務局：樋渡一海、河口潤子 (Po平6)、山崎大樹 (Th平11)。

ロサンゼルス支部

川口輝明 (A昭51)

去る2月23日、Pasadenaのフランス料理店“MaisonAkira”で、2003年度第1回目のLA支部昼食会が開催されました。今回は、合計23名の方が参加され、皆様から一言ずつ学生時代のエピソードを披露いただき、大変興味のある

お話を伺うことが出来ました。昭和20年代は食べ物の話、30年から40年代初めは高度成長期、40年代後半は学生運動、ずっと年代が下がって平成は、「個」を大切に自分の夢を追いかける、といったように時代をそれぞれ反映したお話は、大げさかもしれませんが、伺っていて一つの絵巻物を見ているような感じがしました。また、今回は皆さんに楽しんでいただこうと、「東京外語会クイズ」を作成し解いていただきましたが、問題が難しかったようで、学生時代の入学試験のようにはいかなかった様です。クイズの賞品として、榎さん、宮田さん、柴崎さんにドネーションをいただきました。あらためてお礼申し上げます。

なお、次回(2003年10月頃)のLA支部会合の幹事は、武藤祐司さん(Po平2)です。

ロンドン支部

沢田博史(IM昭62)

2月に開いた新年会は、なんと『♪飛んでイスタンブール♪』でお馴染みのあの方がスペシャルゲストとして参加したのです。そうです、シンガーソングライターの庄野真代さんです。場所はロンドン中心部、イギリス伝統のパブ



庄野真代さんを囲んで

「SHELLY'S」。2月14日(金)のことでした。とはいえ、「ディナーショー」を楽しんだわけではありません。現在、ロンドンに留学中の庄野さんを応援するための会でした。庄野さんは3月7日、チャリティーコンサートを通して「OXFAM・オックスフォード飢餓救済委員会」

を支援しようと企画しました。ここでもロンドン外語会の面々が一役かったのです。実行委員長を務めたのがトムソン<長>もも子さん(R昭46)、時事通信の記者としてインタビュー取材を行ったのは持田譲二さん(D昭59)、イギリスの邦人向け雑誌「ジャーニー」の副編集長として庄野さんを大々的に取り上げた石野斗茂子さん(E昭63)。そして、外語会の新年会で壮行しようという力業を見せたのが小倉正広会長(D昭39)でした。

「音楽のあるところには人が集まり、人が集まると、一人ではできなかったことができるようになる。」1976年、歌手生活をスタートさせて以来変わることのない庄野さんの信念です。その思いを胸に、3月7日、庄野さんは満を持してステージに立ちました。会場となった教会、ST.JAMES'S CHURCHは満員御礼。200人以上もの観客が詰めかけ厳かな空間に響きわたるまっすぐで透明な歌声に酔いました。庄野さんの心の優しさを余すことなく映し出したチャリティーコンサートは成功裏に終わりました。本当にお疲れ様でした。

台湾東京外語会

斎藤 攻(Po昭41)

国立政治大学林綺雲教授(J昭49)没後1年が過ぎた2003年3月10日、同教授を偲ぶ学術講演会が同校で開催されました。同校校長や関係者、教え子たちが参加するなか、彼女を偲ぶ話に加え、恩師窪田富男本学名誉教授の記念講演などもありました。林教授の息子さん3人は全て日本の大学に留学して医者を目指しています。この会には台湾東京外語会を代表して古賀正人名誉会長(IM昭24)と小生が参加しました。3月25日に前会長奥住士朗さん(C昭35)の来台、大木義弘さん(C昭50)の4月日本への帰国とあわせて、新年を祝う春酒会を彭園湘菜館で開催しました。邱文澤(Th昭20中退)、古賀正人、李明斌(J昭56)、楊麗珮(J昭57)、張淑静(J平1)、洪耿國(J平3)、椒(J平3)、今回新しく上林 隆(M昭54)と米岡哲志(J平11)さんも参加され、うまい湖南料理とワインを味わいながら談論風発の楽しいひとときを

持ちました。なお当日参加された續三義さん（JL平1）は北京外国語大学教授の中国人です。現在中国と台湾間の協定による交換教授として、昨年秋から政治大学に駐在してこの夏までの約1年間勉強をしています。台湾と中国のギスギスした政治関係のなかでも学問の世界ではこのような交流が実施されているようです。

デュッセルドルフ外語会第57回例会

関谷恭子(D平9)

2003年度の最初の顔合わせがようやく3月13日、デュッセルドルフの日本料理屋“喜かく”にて行われました。ここ数回とも会を開くたびに送別会となるのですが、今回もまた例外にもれず斎藤容子氏の帰国お別れパーティーとなりました。出張帰りの森会長より、老舗のパウム

クーヘンとEuro紙幣のプリントされたマグカップを贈られご満悦そうでした。また他にも若い女性陣がベルリンへ、パリへと引っ越され華が少なくなり寂しくなりそうです。

デュッセルドルフ外語会の名簿には30名ほどの方の名が連ねられておりますが、幽霊会員も少なくなくこれから調査をしていく次第です。逆にデュッセルドルフ近郊に新しく赴任された方、お住まいの方からのご連絡もお待ちしております。府中の新校舎で学んだ方もなお歓迎です！

今回の出席者

三丁目俊三(D昭37)、栗林重徳(D昭42)、斎藤容子(U昭48)、森 正孝(Po昭54)、大谷真理(U平1)、石原彰子(D平3)、関谷恭子、芹沢美妃(D平11)

外語会報モニター募集のお知らせ

外語会会報を読んで、最近読みやすくなった、記事が充実してきたので楽しみなど、編集者にとって励ましになる言葉が返ってくるようになりました。これからも内容のある誌面作りに努力してまいります。この度、外語会活動や会報について忌憚のないご意見、ご要望、建設的なアイデア、情報等を提供していただくモニターを募集することにしました。お寄せいただいた声を生かして会報を一層皆様の身近なものにしたいと思っております。どなたでも応募いただけますが、特に、若い同窓の方は大歓迎です。ただ、アンケートやご意見はeメールを通じて交信するシステムをとりますので、メールの送受信ができる方にお願いしたいと思います。モニターになってくださる方は、メールアドレス：haruohommo@m8.dion.ne.jp（編集長：本望春夫）宛にタイトルを「会報モニター応募」として登録してください。お待ちしております。

会報編集部